

ご 注 意

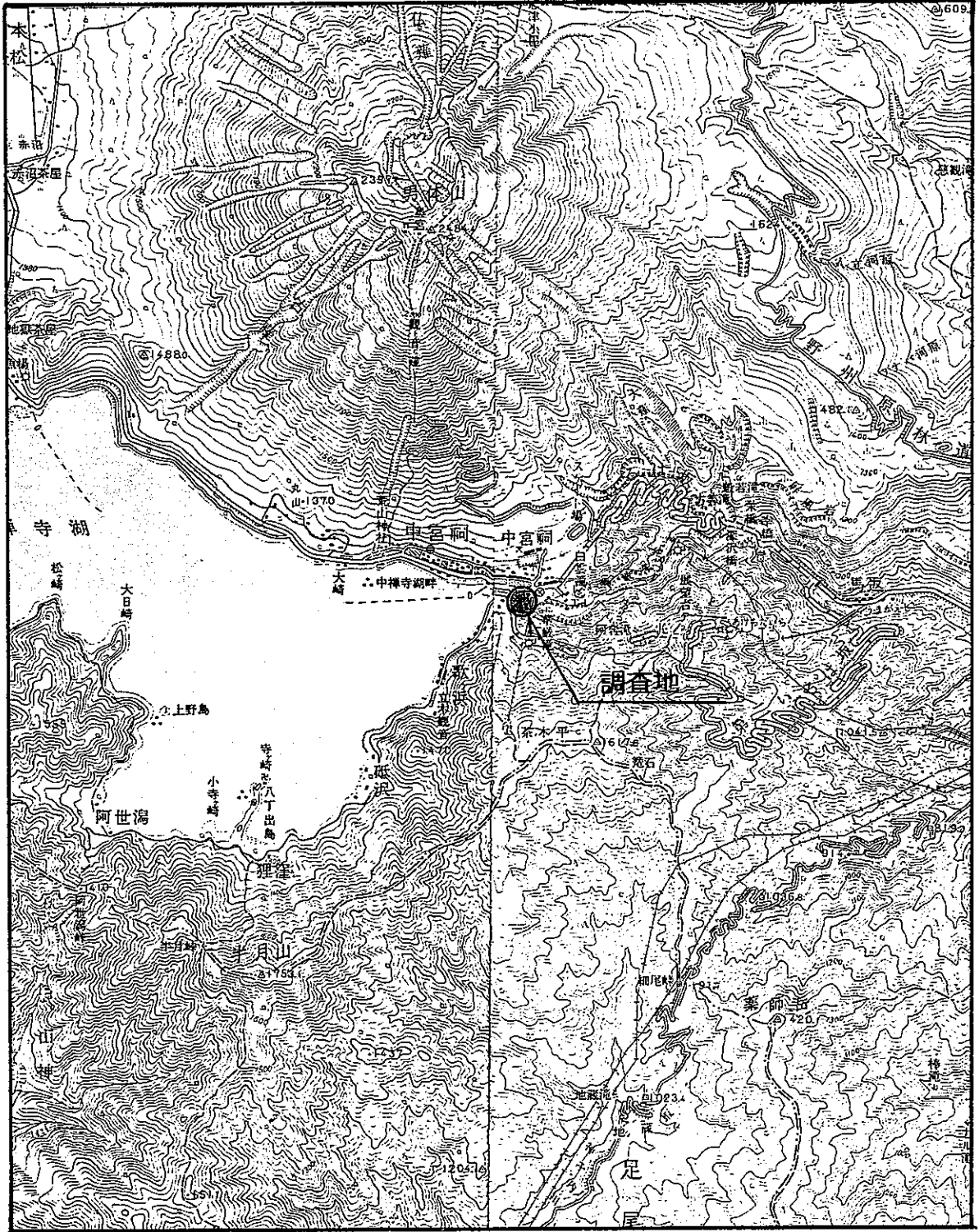
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

調査地案内図



1 : 50,000



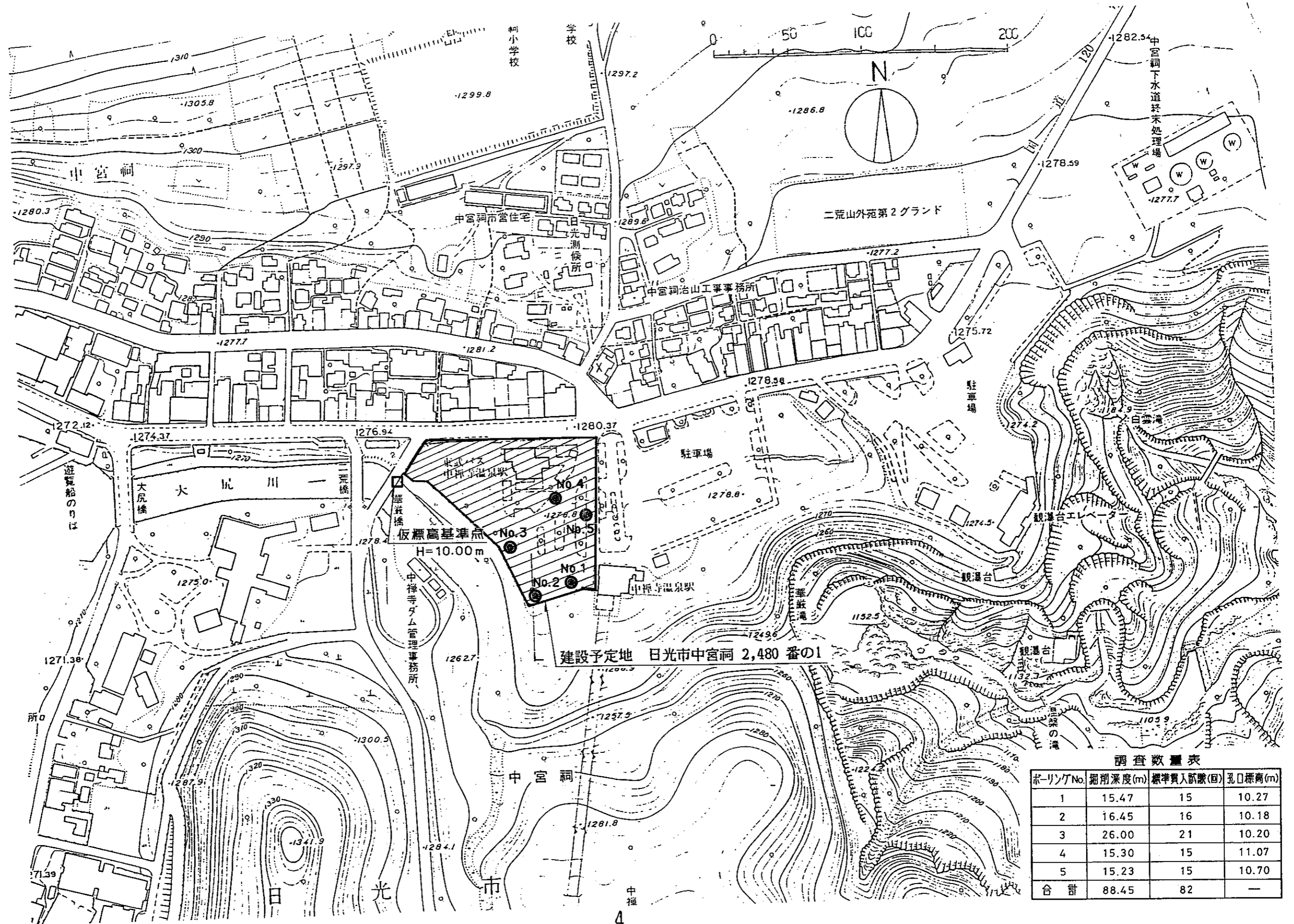


図 1-1 調査地点案内図 縮尺 1/2500

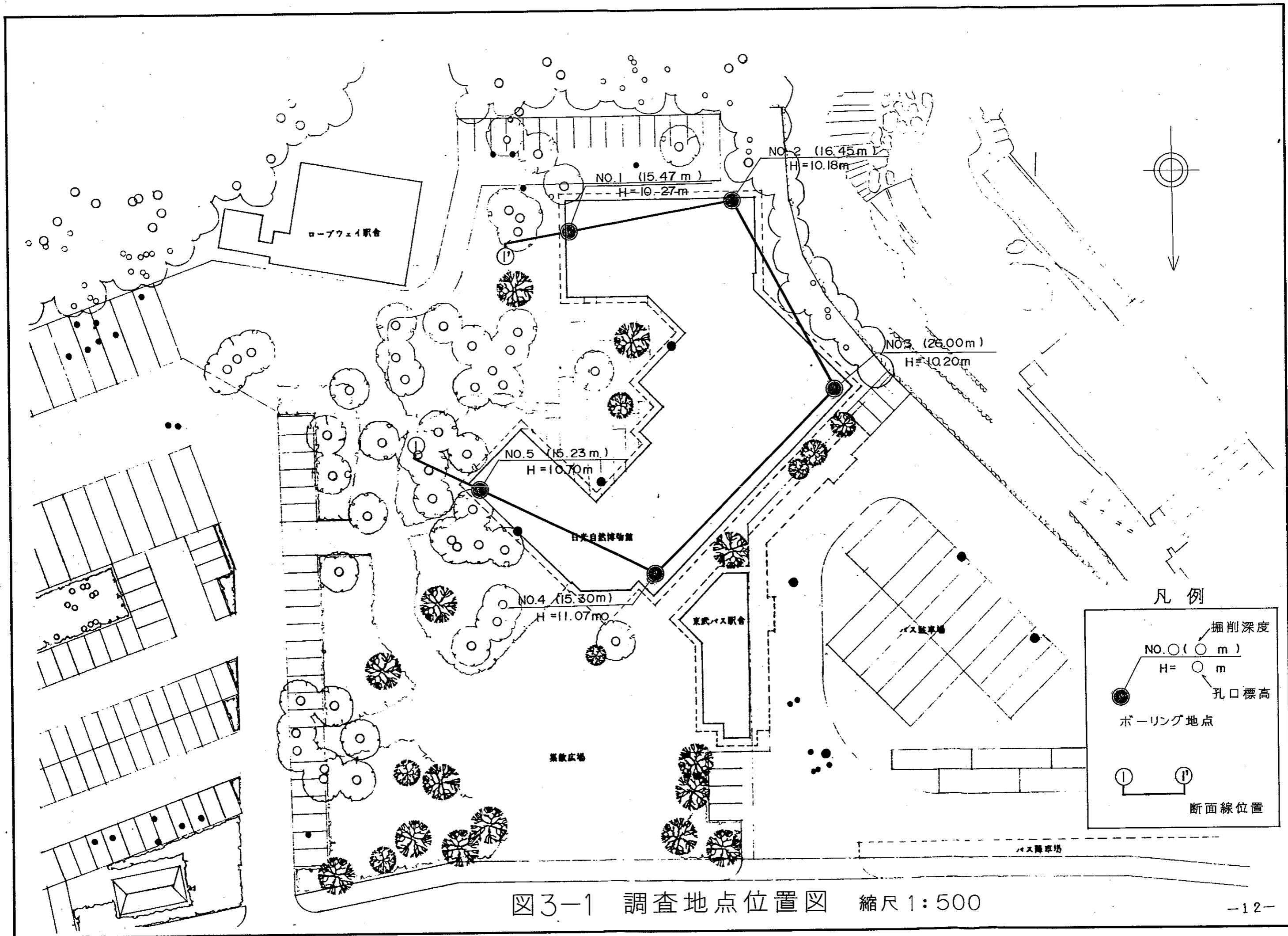


図3-1 調査地点位置図 縮尺 1:500

調査地点: 栃木県日光市中宮祠 2480-1

孔口標高: H = 10.27 m

調査年月日: 平成 年 月 日 ~ 月 日

水位: なし

標高 Rm	標高 m	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	色 調	地 質 名	観 察 記 事	標準貫入試験					試料採取			原位置試験					
								深度 m	打撃 回数 /10cm	10cm毎の 打撃回数			N 値					試料番号	採取深度 m	採取方法	試験名
9.82	0.45	0.45			暗灰	コンクリートスラブ															
1					暗褐	礫混り粗砂	全体に不均質で、径2~30mmの円~角礫を含む。全体に緩い。	1.15	8/30	3/2	3/2	2/6									
2								1.45													
3	7.17	3.10	2.65		黄褐 赤褐	砂質ローム	均質であり、上部では軽石を含む。	2.15	9/30	3	3	3									
4	5.77	4.50	1.40		褐	火山砂	不均質である。	2.45													
5	4.67	5.70	1.20		暗茶	火山灰質有機質土	粘土状を呈する。	3.15	7/30	2/4	1/6	4									
6	3.87	6.40	0.70		褐	火山砂	不均質である。	3.45													
7	3.27	7.00	0.60		黄灰	軽石質ローム	白色の硬質な軽石を含む。	4.15	5/32	2/4	1/8	2									
8	2.57	7.70	0.70		赤褐	火山礫	全体に半固結状を呈し、マトリックスと礫は同質である。礫は軟質でハンマーで砕けやすい。下部では暗灰色の硬質な礫を含む。	4.47													
9					暗灰	火山礫		5.15	6/30	2	2	2									
10								5.45													
11								6.15	3/30	1/4	1/9	1/7									
12	-1.53	11.80	4.10					6.45													
13								7.15	9/33	3/3	3/7	3/3									
14								7.48													
15								8.15	5/32	2/5	1/6	2/2									
16								8.47													
17								9.15	11/30	3	4	4									
18								9.45													
19								10.15	6/30	2	2	2									
20								10.45													
								11.15	24/30	6	6	12									
								11.45	50/0	50/0	-	-									
								12.05													
								12.05													
								13.10	50/0	50/0	-	-									
								13.10													
								14.13	50/3	50/3	-	-									
								14.16													
								15.37	50/10	50	-	-									
								15.47													

(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンプラーによる試料
- ② デニソンサンプラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンプラーによる試料
- コア試料

2. 試料採取深度と採取比

$\frac{3.20}{45}$ 3.20-3.70 は試料採取深度 (m)
 $\frac{45}{50}$ 45/50は採取比(50cm:貫入深さ, 45cm:試料長さ)

3. 原位置試験名の記号

- Ⓚ 横方向K値試験
- Ⓛ 透水試験
- Ⓧ 間げき水圧測定

日光自然博物館(仮称)新築工事 地質柱状図 (孔番号: No. 2)

調査地点: 栃木県日光市中宮祠 2480-1

孔口標高: H = 10.18 m

調査年月日: 平成 年 月 日 ~ 月 日

水位: なし

標高 m	深度 m	層厚 m	柱状 図	色調	地質名	観察記事	標準貫入試験					試料採取			原位置 試験							
							深度 m	打撃 回数 回/cm	10cm毎の 打撃回数			N 値					試料 番号	採取 深度 m	採取 方法	試験 名	試験 深度 m	
									10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40	50					
9.83	0.35	0.35	○	暗褐	盛土	礫混り砂。シルトを含む。	-1.15	9/33	3	3	3/3											
				暗褐	礫混り粗砂	全体に不均質で、径2~10mmの円~角礫を含む。礫は安山岩質で、一部多孔質である。全体に緩い。	-1.48	8/32	3	3/1	2/1											
				赤褐	シルト質ローム	不均質なロームで軽石を含む。やや砂質である。	-2.15	6/32	2/3	1/9	3/11											
6.08	4.10	3.75		暗茶	火山灰質有機質土	粘土状を呈し、有機物を含む。	-2.47	3/35	1/8	1	1/7											
5.28	4.90	0.80		暗茶	火山灰質有機質土	粘土状を呈し、有機物を含む。	-3.15	3/38	1/5	1/1	1/2											
4.38	5.80	0.90		暗茶	火山砂	不均質で礫を含む。全体にローム質である。軽石を含む。	-3.47	3/35	1/7	1/5	1/3											
5.13	7.05	1.25		暗茶	火山砂	不均質で礫を含む。全体にローム質である。軽石を含む。	-4.15	3/31	1/3	1/9	1/9											
2.53	7.15	0.60		暗茶	軽石質ローム	軽石を含むが、全体に均質である。	-4.50	8/32	2	4/2	2											
				赤褐	火山礫	全体に半固結状を呈する。礫およびマトリックスは同質である。礫は角礫よりなるが軟質でハンマー等で砕けやすく、層全体もやや軟質となっている。	-5.15	9/31	4/2	1/8	4/11											
				暗褐	火山岩塊	最大径700mmの安山岩の岩塊からなり、礫率70~80%である。	-6.50	11/30	2/9	5/2	4/9											
				暗褐	火山礫	径2~30mmの火山礫からなる。礫は比較的硬質である。深度14.7mで掘進中に漏水する。	-7.15	6/30	2	2	2											
-1.52	11.70	4.05		暗褐	火山岩塊	最大径700mmの安山岩の岩塊からなり、礫率70~80%である。	-7.46	50/1	50/1	-	-											
				暗褐	火山礫	径2~30mmの火山礫からなる。礫は比較的硬質である。深度14.7mで掘進中に漏水する。	-8.15	50/2	50/2	-	-											
				暗褐	火山礫	径2~30mmの火山礫からなる。礫は比較的硬質である。深度14.7mで掘進中に漏水する。	-8.47	50/9	50/8	-	-											
-4.17	14.35	2.65		暗褐	火山礫	径2~30mmの火山礫からなる。礫は比較的硬質である。深度14.7mで掘進中に漏水する。	-9.15	27/30	6	8	13											
				暗褐	火山礫	径2~30mmの火山礫からなる。礫は比較的硬質である。深度14.7mで掘進中に漏水する。	-9.46	25/30	8	7	10											
							-10.15															
							-10.45															
							-11.15															
							-11.45															
							-12.15															
							-12.76															
							-13.15															
							-13.77															
							-14.15															
							-14.23															
							-15.15															
							-15.45															
							-16.15															
							-16.45															

(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンプラーによる試料
- ② デニソンサンプラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンプラーによる試料
- コア試料

2. 試料採取深度と採取比

$\frac{3.20}{45}$ 3.20-3.70 は試料採取深度 (m)
 $\frac{50}{3.70}$ 45/50は採取比(50cm:貫入深さ, 45cm:試料長さ)

3. 原位置試験名の記号

- (K) 横方向K値試験
- (k) 透水試験
- (pp) 間げき水圧測定

調査地点: 栃木県日光市中宮祠 2480-1

孔口標高: H=10.20 m

調査年月日: 昭和 年 月 日 ~ 月 日

水位: なし

標尺 m	標高 m	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	色 調	地 質 名	観 察 記 事	標準貫入試験					試料採取			原位置試験						
								深度 m	打撃 回数	10cm毎の 打撃回数			N 値					試料 番号	採取 深度 m	採取 方法	試験 名	試験 深度 m
										貫入 回数/cm	10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30					
1	9.70	0.50	0.50	⊗	暗灰	盛土	アスファルト等の礫を含む。	1.15	5/30	1	2	2										
2				○	暗褐	礫混り粗砂	全体に不均質で緩い。 径2~20mmの円~角礫を含む。	1.45														
3				○			下部は細粒で軽石を多く含む。	2.15	4/32	1	1/9	2/13										
4	6.30	3.90	3.40	○	暗赤褐	砂質ローム	不均質なロームである。	2.47														
5	5.40	4.80	0.90	△	暗茶	火山灰質有機質土	粘土状を呈し、軟質である。	3.15	4/30	1/20	-	3										
6	4.60	5.40	0.80	△	黄灰	軽石混りローム	軽石を多量に含む、粗粒なローム。	3.45	5/35	1/19	-	1/14										
7	3.60	6.60	1.00	△				4.15														
8				○	赤褐	火山礫	全体に固結状を呈し、マトリックスと礫は同質である。	4.50	7/34	3	1/12	1/13										
9				○			礫は軟質で砕けやすい。	5.15														
10				○	暗褐		層下部は礫は硬質で暗色となる。	5.49														
11	-0.40	10.60	4.00	○				6.15	7/33	2	2/11	3/13										
12				○	暗茶	火山岩礫	最大径600mmの安山岩の岩塊からなる。	6.48														
13				○			岩塊は硬質で、棒状コアとして採取される。	7.15	4/33	1/9	1/9	2/15										
14				○	暗青		礫率は70~80%である。	7.48														
15				○				8.15	7/33	2	3/12	2/11										
16	-5.60	15.80	5.20	○	赤褐	火山礫	径10~50mmの安山岩の角礫を主体とする。	8.48														
17				○			マトリックスは中~細砂である。	9.15	10/30	4	3	3										
18				○	暗褐	火山礫	深度19mより掘進中に透水する。	9.45														
19				○				10.15	15/30	3	5	7										
20				○				10.45														
21	-10.70	20.90	5.10	○	赤褐	火山礫	径10~50mmの安山岩の角礫を主体とする。	11.15	50/5	50/5	-	-										
22				○			マトリックスは中~細砂である。	11.20														
23				○	暗灰	安山岩	割れ目沿いにやや風化しているものの、棒状コアとして採取される。	12.15	50/4	50/4	-	-										
24				○			安定した岩盤である。	12.19														
25				○				13.15	50/9	50/9	-	-										
26	-15.80	26.00	5.10	○				13.24														
27				○				14.15	50/6	50/6	-	-										
28				○				14.21														
29				○				15.15	50/3	50/3	-	-										
30				○				15.78														
				○	赤褐	火山礫	径10~50mmの安山岩の角礫を主体とする。	16.15	21/30	7	5	9										
				○			マトリックスは中~細砂である。	16.45														
				○	暗褐	火山礫	深度19mより掘進中に透水する。	17.15	46/30	2	5	39										
				○				17.45														
				○				18.15	21/30	5	7	9										
				○				18.45														
				○				19.15	43/30	15	15	13										
				○				19.45														
				○				20.15	37/30	10	13	14										
				○				20.45														
				○				21.00	50/0	50/0	-	-										

(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンプラーによる試料
- ② デニソンサンプラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンプラーによる試料

3. 原位置試験名の記号

- Ⓚ 横方向K値試験
- Ⓛ 透水試験
- Ⓧ 間げき水圧測定

日光自然博物館(仮称)新築工事 地質柱状図 (孔番号: No. 4)

調査地点: 栃木県日光市中宮祠 2480-1

孔口標高: H = 11.07 m

調査年月日: 平成 年 月 日 ~ 月 日

水位: なし

標尺 m	標高 m	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	色 調	地 質 名	観 察 記 事	標 準 貫 入 試 験					試 料 採 取			原 位 試 験			
								深 度 m	打 撃 回 数	10cm毎の 打 撃 回 数			N 値					試 料 番 号	採 取 深 度 m
									0	10	20	30	40	50					
1	10.67	0.40	0.40		暗 灰	盛 土	小礫・碎石からなりよく締っている。												
	9.57	1.50	1.10		褐	礫混りローム	不均質なロームで、径2~5mmの円礫を含む。	-1.15	6/30	1	2	3							
2					暗 褐	礫混り粗砂	全体に不均質な層で、径2~4mmの円~角礫を含む。全体に緩い。	-1.45											
					暗 褐	礫混り粗砂	全体に不均質な層で、径2~4mmの円~角礫を含む。全体に緩い。	-2.15	4/31	1	2/14	1/7							
					暗 褐	礫混り粗砂	全体に不均質な層で、径2~4mmの円~角礫を含む。全体に緩い。	-2.46											
					暗 褐	礫混り粗砂	全体に不均質な層で、径2~4mmの円~角礫を含む。全体に緩い。	-3.15	4/32	1	2/15	1/7							
					暗 褐	礫混り粗砂	全体に不均質な層で、径2~4mmの円~角礫を含む。全体に緩い。	-3.46											
4	6.97	4.10	2.60		暗 褐	火山礫	全体に不均質で、所々にロームを挟む。径3~10mmの角礫を含む。礫は砕けやすい。整石を含む。	-4.15	5/35	2	1/9	2/16							
					暗 褐	火山礫	全体に不均質で、所々にロームを挟む。径3~10mmの角礫を含む。礫は砕けやすい。整石を含む。	-4.50											
					赤 褐	火山礫	全体に不均質で、所々にロームを挟む。径3~10mmの角礫を含む。礫は砕けやすい。整石を含む。	-5.15	8/31	3	3	2/11							
					赤 褐	火山礫	全体に不均質で、所々にロームを挟む。径3~10mmの角礫を含む。礫は砕けやすい。整石を含む。	-5.46											
					赤 褐	火山礫	全体に不均質で、所々にロームを挟む。径3~10mmの角礫を含む。礫は砕けやすい。整石を含む。	-6.15	7/32	2	3	2/12							
					赤 褐	火山礫	全体に不均質で、所々にロームを挟む。径3~10mmの角礫を含む。礫は砕けやすい。整石を含む。	-6.47											
7	3.87	7.20	3.10		赤 茶	礫混り細砂	不均質な砂。	-7.15	8/31	3	3	2/11							
	3.47	7.60	0.40		赤 茶	礫混り細砂	不均質な砂。	-7.46											
8					赤 褐	火山礫	半固結状を呈し、礫とマトリックスは同質である。礫は砕けやすく、全体に軟質である。	-8.15	3/32	1/2	1	1							
					赤 褐	火山礫	半固結状を呈し、礫とマトリックスは同質である。礫は砕けやすく、全体に軟質である。	-8.47											
					赤 褐	火山礫	半固結状を呈し、礫とマトリックスは同質である。礫は砕けやすく、全体に軟質である。	-9.15	3/35	1	1/11	1/14							
					赤 褐	火山礫	半固結状を呈し、礫とマトリックスは同質である。礫は砕けやすく、全体に軟質である。	-9.50											
10	0.47	10.60	3.00		赤 褐	火山礫	半固結状を呈し、礫とマトリックスは同質である。礫は砕けやすく、全体に軟質である。	-10.15	17/30	5	6	9							
					赤 褐	火山礫	半固結状を呈し、礫とマトリックスは同質である。礫は砕けやすく、全体に軟質である。	-10.45											
11					暗 褐	火山岩塊	最大径400mm程度の安山岩塊からなる。礫率は70~80%である。	-11.15	50/25	17	20	19/5							
					暗 褐	火山岩塊	最大径400mm程度の安山岩塊からなる。礫率は70~80%である。	-11.40											
					暗 褐	火山岩塊	最大径400mm程度の安山岩塊からなる。礫率は70~80%である。	-12.15	50/7	50/7	-	-							
					暗 褐	火山岩塊	最大径400mm程度の安山岩塊からなる。礫率は70~80%である。	-12.22											
					暗 褐	火山岩塊	最大径400mm程度の安山岩塊からなる。礫率は70~80%である。	-13.15	50/10	50	-	-							
					暗 褐	火山岩塊	最大径400mm程度の安山岩塊からなる。礫率は70~80%である。	-13.25											
					暗 褐	火山岩塊	最大径400mm程度の安山岩塊からなる。礫率は70~80%である。	-14.15	50/21	17	29	4/1							
					暗 褐	火山岩塊	最大径400mm程度の安山岩塊からなる。礫率は70~80%である。	-14.36											
15	-4.23	15.30	4.70		暗 褐	火山岩塊	最大径400mm程度の安山岩塊からなる。礫率は70~80%である。	-15.15	50/15	19	3/5	-							
					暗 褐	火山岩塊	最大径400mm程度の安山岩塊からなる。礫率は70~80%である。	-15.30											

(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンプラーによる試料
- ② デニソンサンプラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンプラーによる試料
- コア試料

2. 試料採取深度と採取比

$\frac{3.20}{45}$ 3.20-3.70 は試料採取深度 (m)
 $\frac{50}{3.70}$ 45/50は採取比(50cm:貫入深さ, 45cm:試料長さ)

3. 原位置試験名の記号

- Ⓚ 横方向K値試験
- Ⓛ 透水試験
- Ⓧ 間げき水圧測定

日光自然博物館(仮称)新築工事 地質柱状図 (孔番号: No. 5)

調査地点: 栃木県日光市中宮祠 2480-1

孔口標高: H = 10.70 m

調査年月日: 平成 年 月 日 ~ 月 日

水位: なし

標高 m	深度 m	層厚 m	柱状 図	色調	地質名	観察 記事	標準貫入試験					試料採取			原位置 試験						
							深度 m	打撃 回数 回/cm	10cm毎の 打撃回数			N 値					試料 番号	採取 深度 m	採取 方法	試験 名	試験 深度 m
									10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40	50				
10.30	0.40	0.40	○	暗褐	埋土	礫混りシルト。															
1			○	暗褐	礫混り粗砂	全体に不均質で緩い。 径2~10mmの角~円礫を含む。	-1.15	11/30	4	4	3										
2			○	暗褐	礫混り粗砂		-1.45														
3			○	暗褐	礫混り粗砂		-2.15	5/30	2/2	2/1	1/7										
4	6.90	3.80	3.40	○	中砂	軽石を含む。	-2.45														
5	6.40	4.30	0.50	黄褐	ローム	軽石を含み、全体に不均質な ローム	-3.15	4/33	1/8	2/3	1/2										
6	5.60	5.10	0.80	褐	火山砂	全体に不均質で礫を含む。 所々にロームを挟む。 軽石を含む。	-3.48														
7				赤褐	火山礫	全体に半固着状を呈し、礫と マトリックスは同質である。 ハンマー等で砕けやすく、軟 質な地層となっている。	-4.15	3/32	1/4	3/1	4										
8	3.00	7.70	2.60	暗褐	火山岩塊	最大径600mm、平均径200mm の安山岩の岩塊からなり、礫 率70~80%である。	-4.47														
9				暗褐	火山岩塊		-5.15	9/30	2/9	3/1	4										
10	0.20	10.50	2.80	暗褐	火山岩塊		-5.45														
11				暗褐	火山岩塊		-6.15	4/31	1	1/9	2/2										
12				暗褐	火山岩塊		-6.46														
13				暗褐	火山岩塊		-7.15	6/32	2	3/1	1/1										
14				暗褐	火山岩塊		-7.47														
15	-4.53	15.23	4.73	暗褐	火山岩塊		-8.15	3/36	1/3	1/2	1/1										
16				暗褐	火山岩塊		-8.51														
17				暗褐	火山岩塊		-9.15	4/31	1/9	1/9	2/3										
18				暗褐	火山岩塊		-9.46														
19				暗褐	火山岩塊		-10.15	26/30	6	9	13										
20				暗褐	火山岩塊		-10.45														
				暗褐	火山岩塊		-11.15	50/2	50/2	-	-										
				暗褐	火山岩塊		-11.17														
				暗褐	火山岩塊		-12.15	50/2	50/2	-	-										
				暗褐	火山岩塊		-12.17														
				暗褐	火山岩塊		-13.15	50/9	50/9	-	-										
				暗褐	火山岩塊		-13.24														
				暗褐	火山岩塊		-14.15	50/10	50	-	-										
				暗褐	火山岩塊		-14.25														
				暗褐	火山岩塊		-15.15	50/8	50/8	-	-										
				暗褐	火山岩塊		-15.23														

(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンプラーによる試料
- ② テニソンサンプラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンプラーによる試料
- コア試料

2. 試料採取深度と採取比

$\frac{3.20}{45}$ 3.20-3.70 は試料採取深度 (m)
 $\frac{50}{3.70}$ は採取比 (50cm: 貫入深さ, 45cm: 試料長さ)

3. 原位置試験名の記号

- Ⓚ 横方向K値試験
- Ⓛ 透水試験
- Ⓧ 間げき水圧測定